

第8期末（2023年10月16日）

基準価額	7,356円
純資産総額	485百万円
騰落率	△3.4%
分配金	0円

ニッセイ・デンマーク・ カバード債券ファンド2019-12 (為替ヘッジあり・限定追加型)

【愛称】しあわせインカム19-12

追加型投信／海外／債券 **特化型**

交付運用報告書

作成対象期間：2023年4月18日～2023年10月16日

第8期（決算日 2023年10月16日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2019-12（為替ヘッジあり・限定追加型）」は、このたび第8期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

なお当ファンドは、運用開始以来、長らくご愛顧いただきましたが、2024年10月15日に信託期間満了となります。

今後ともいっそうのお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で運用報告書（全体版）をダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【ダウンロード方法】上記ホームページ→ファンド検索→ファンド名入力→ファンド詳細ページ→運用レポート→運用報告書（全体版）

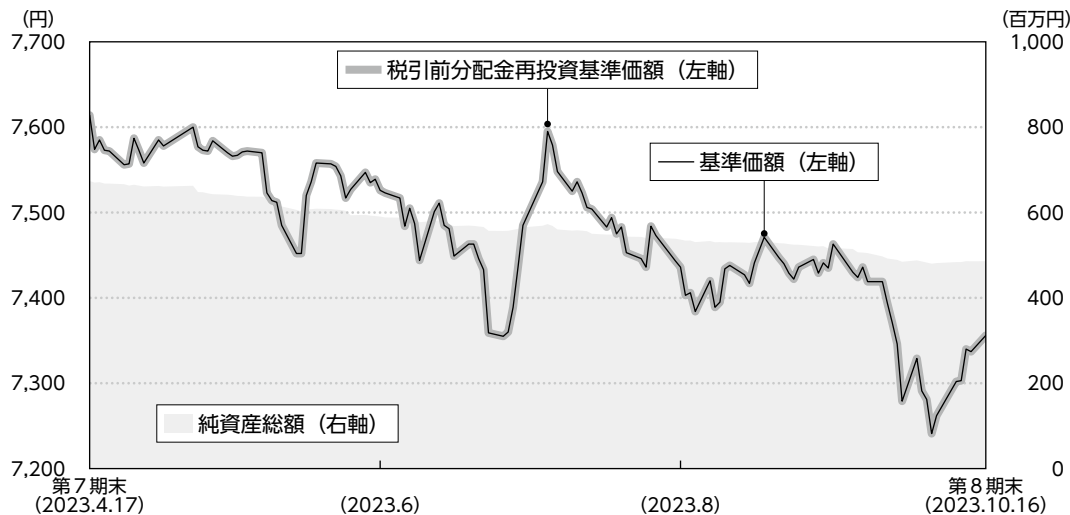
UD FONT

ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

運用経過

2023年4月18日～2023年10月16日

基準価額等の推移



第8期首	7,614円	既払分配金	0円
第8期末	7,356円	騰落率 (分配金再投資ベース)	△3.4%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・7月中旬、また10月初旬以降に欧州債券市場が堅調な地合いで推移する中、デンマーク・カバード債券も堅調な値動きとなったこと
- ・相対的に高い為替ヘッジ後の利回りによるキャリー収益 (債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益) を確保したこと

<下落要因>

- ・期初から7月初旬、また7月下旬から10月初旬にかけて欧州金利が上昇 (債券価格は下落) する中、幅広いクーポンの債券で価格が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第8期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	34円	0.454%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,471円です。
(投信会社)	(16)	(0.219)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(16)	(0.219)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.027	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(2)	(0.022)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	36	0.481	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

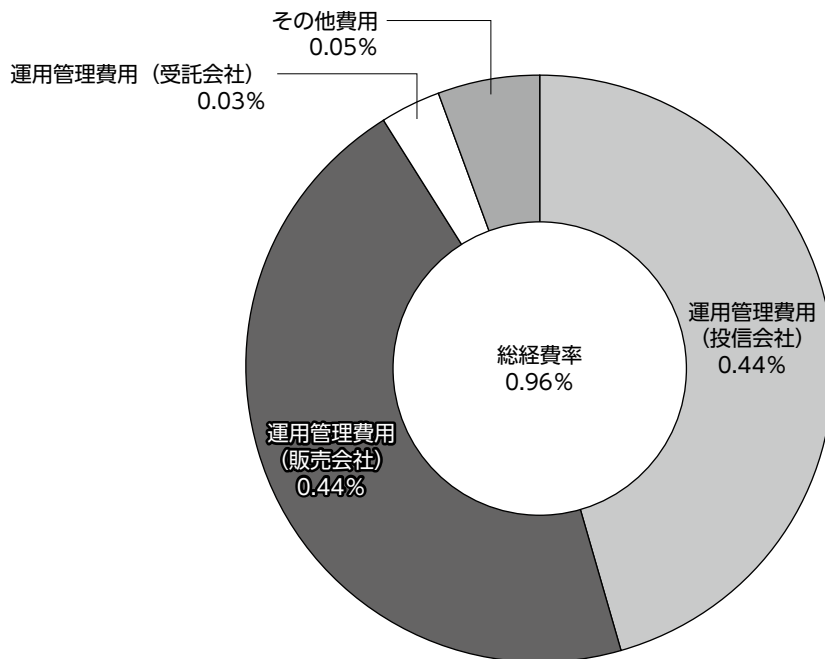
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



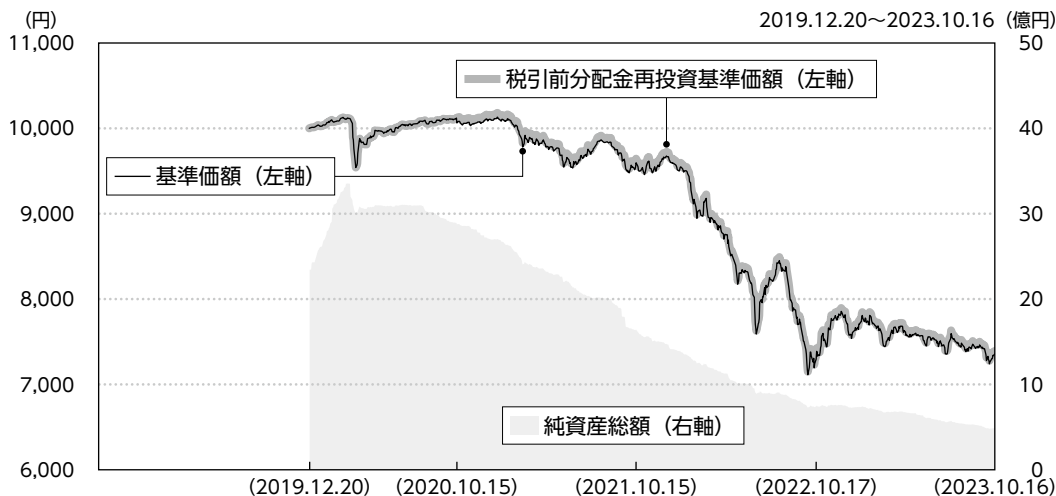
（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 当ファンドの設定日は2019年12月20日です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

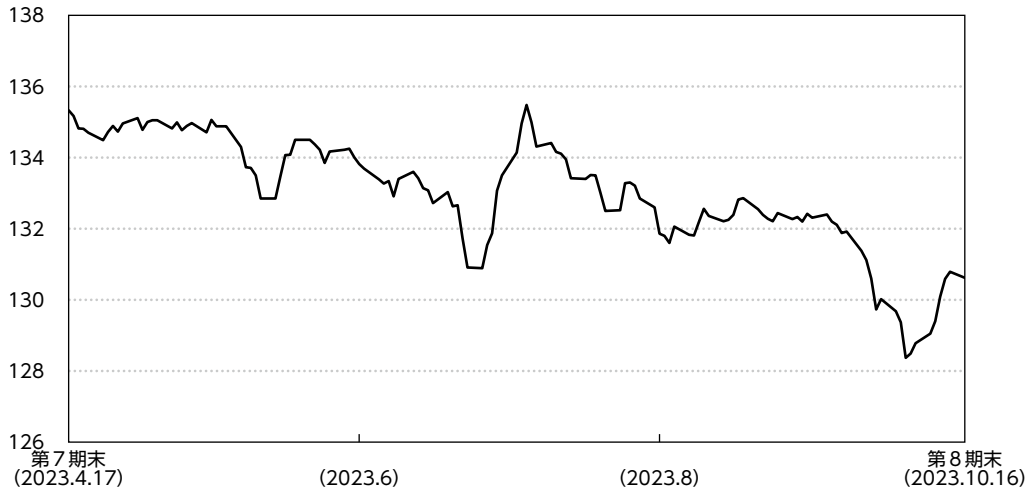
決算日		2019年 12月20日	2020年 10月15日	2021年 10月15日	2022年 10月17日	2023年 10月16日
基準価額 (分配落)	(円)	10,000	10,063	9,597	7,296	7,356
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	50	0	0	0
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	1.1	△4.6	△24.0	0.8
純資産総額	(百万円)	2,343	2,873	1,642	741	485

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 当ファンドはベンチマークなどを設けていません。

デンマーク・カバード債券市況

【ニクレディット トータル インデックス（円ヘッジ）の推移】



(注) ブルームバークのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

期初から6月末にかけては、金融機関の信用状況に対する懸念や強弱入り交じる経済指標を背景に、金利は上下しながらもインフレ率の高止まりや欧州中央銀行（ECB）が5月・6月会合においてそれぞれ0.25%ずつ利上げしたことを受けて上昇（債券価格は下落）基調で推移しました。7月初旬は米経済指標の上振れを背景に世界的に金融引き締め長期化観測が広がったことから金利は大幅に上昇しましたが、7月後半は米国やイギリスの消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったことなどから低下に転じました。ECBが0.25%の追加利上げを実施しましたが、金融引き締めに積極的な姿勢を強めなかったことも債券市場のサポート材料となりました。8月に入り米国において国債発行増額による債券供給圧力が意識されたことや、9月にはECBがさらに0.25%の追加利上げを決定する中、米国においても政策金利が市場予想より高止まりする見通しを米連邦準備制度理事会（FRB）が示したことが金融引き締めに積極的な姿勢と捉えられ、米国債に追随して金利は再び上昇する展開となりました。10月上旬はイスラエルとイスラム組織ハマスの紛争開始を受けて投資家のリスク回避的な姿勢から一時金利は低下しましたが、中旬に入ると米経済指標の上振れを背景に再度金利は上昇する展開となりました。

デンマーク・カバード債券については、7月中旬に欧州債券市場のボラティリティ（価格変動性）上昇が一服したことも相まってデンマーク・カバード債券価格も上昇する場面も見られましたが、期を通じて欧州金利が上昇基調で推移する中、低クーポン債を中心に下落しました。

ポートフォリオ

■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、組入外貨建資産については原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当期末の格付別構成比はA A A格（100.0%）であり、平均格付はA A A格を継続しました。

発行体別構成比は当期末時点で、ニクレディット・リアルクレディット（29.7%）、ノルディア・クレディット（29.3%）、ユスケ・リアルクレディット（29.2%）、リアルクレディット・デンマーク（11.7%）としています。

(注1) 比率は対組入債券評価額比です。

(注2) 格付はムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。
 なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2023年4月18日～2023年10月16日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	330円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

欧州債券市場については安値圏でもみあいつつも、徐々に底堅く推移していく展開を予想しています。米国を中心に想定よりも景気が底堅く推移していることから、高い政策金利が当面維持されるとの思惑もあり、金利低下しづらい状況が続く可能性はありますが、ECBは現在の政策金利がインフレ率を目標に回帰させるのに十分な水準に到達したとの認識を示しており、追加利上げの可能性は低下したとみています。また、欧州域内の景況感は悪化傾向が続いており、景気後退リスクも意識されることから、欧州金利の上昇余地は限定的であると予想します。世界的な金利動向に左右されながらも欧州債券市場は次第に安定的な値動きに収束すると見込みます。

デンマーク・カバード債券については、再び金利が上昇する局面では軟調な値動きとなる可能性はありますが、金融政策引き締めへの出口が徐々に見えてくる中においては、相対的に高い信用力と良好な利回りを背景に次第に落ち着きを取り戻し、需要は高まるとみています。また、債券の発行量が抑制されていることに加え、住宅ローン借入人による買い戻しがみられていることもパフォーマンスのサポート要因になると考えています。

デンマーク・カバード債券の価格動向は期限前償還リスクや国債利回りの動きに左右されやすいことから、状況を注視し適切にクーポン構成等を見直します。相対的に高い利回りから得られるインカム収益の確保と安定的なパフォーマンスの達成をめざし信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

また、発行体の信用力に差がある一方で、同一条件のカバード債券の利回りはほぼ同じという市場特性を鑑み、発行体別構成比については発行体銀行や親銀行の信用力等を勘案し、適切なポートフォリオ構成を検討していく方針です。

なお、組入外貨建資産については原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■ 組入ファンド

	第8期末 2023年10月16日
ニッセイ・デンマーク・カバード債 マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

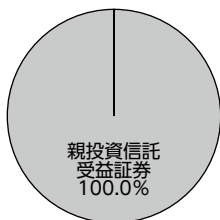
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■ 純資産等

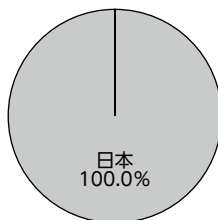
項目	第8期末 2023年10月16日
純資産総額	485,903,470円
受益権総口数	660,585,287口
1万口当たり基準価額	7,356円

(注) 当期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は224,198,246円です。

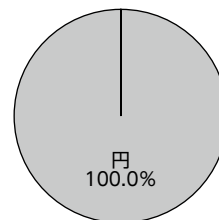
■ 資産別配分



■ 国別配分



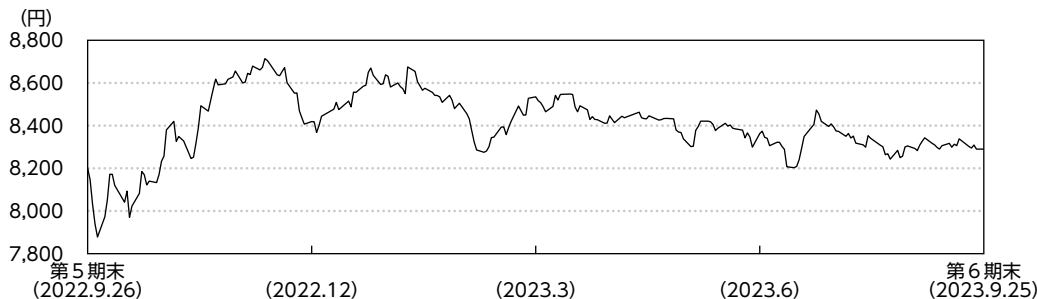
■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年10月16日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債券マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

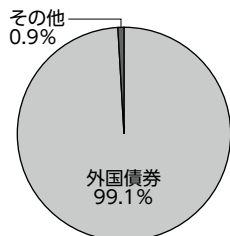
銘柄名	通貨	比率
NYKREDIT REALKREDIT AS 5.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	19.5%
NORDEA KREDIT REALKREDIT 2.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	17.5
JYSKE REALKREDIT A/S 2.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	10.0
REALKREDIT DANMARK 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	9.1
JYSKE REALKREDIT A/S 4.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	8.9
JYSKE REALKREDIT A/S 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	7.1
NORDEA KREDIT REALKREDIT 4.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	6.0
NYKREDIT REALKREDIT AS 3.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	4.8
NYKREDIT REALKREDIT AS 4.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	4.1
NORDEA KREDIT REALKREDIT 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	2.8
組入銘柄数		17

■ 1万口当たりの費用明細

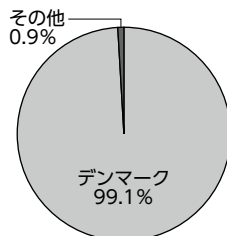
2022.9.27~2023.9.25

項目	金額
その他費用 (保管費用)	4円 (4)
(その他)	(0)
合計	4

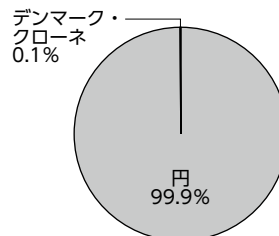
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

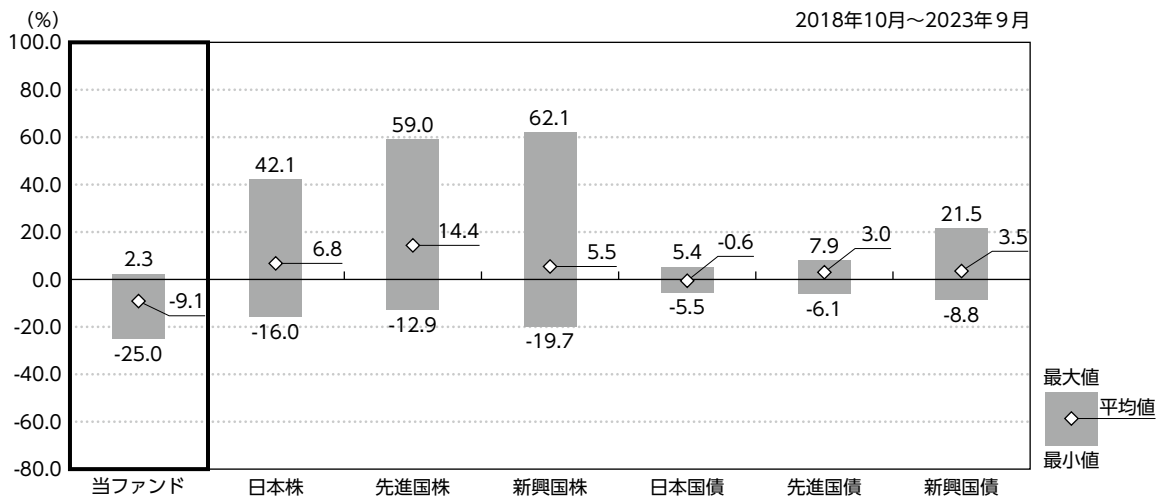
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年9月25日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 通貨別配分につきましては、為替ヘッジを加味した組入比率を記載しています。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

参考情報

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- (注1) 上記は、当ファンドの騰落率(税引前分配金再投資基準価額騰落率)と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年分に満たないため、実在するデータのみの記載となっています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

< 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

- 日本株・・・TOPIX (東証株価指数) (配当込み)
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし(対円)」の指数を採用しています。

*各資産クラスの指数につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

指数に関して

■代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X (東証株価指数) の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」といいます) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
- ・ M S C I コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ M S C I エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P I 国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産は同社に帰属します。なお、同社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。
- ・ J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイドは、J P モルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券 特化型	
信 託 期 間	2019年12月20日～2024年10月15日	
運 用 方 針	<p>①ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。</p> <p>②実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。</p>	
主要運用対象	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2019-12（為替ヘッジあり・限定追加型）	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	デンマーク・カバード債券等
運用方法	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2019-12（為替ヘッジあり・限定追加型）	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。</p>	